

写

我が国の地形は起伏に富み、国土の約7割を山地・丘陵地が占め、山地は谷によって細かく刻まれ、斜面は急傾斜で、断層や地滑り地帯がいたるところに分布していること等から、自然災害の危険性が高い地形・地質にあります。

このため、気候変動の影響による線状降水帯の発生等により、短時間強雨や大雨の頻度が増加することで、大規模な土砂災害などが発生するリスクが高まっています。

今年も梅雨前線や台風の影響で線状降水帯が発生し、東海地方などでは6月の観測史上1位を更新する記録的な大雨となりました。

このような状況を踏まえ、防災・減災の観点から、森林の有する機能を高度に発揮するため、災害に強い健全な森林づくりによる緑の国土強靱化を一層強力に推進していくことが求められています。

一方、山間地域では、住民の安全・安心を確保するために必要となる働き手の高齢化と若い担い手不足に加え、働き方改革に伴う時間外労働の規制や労働者の賃金の引き上げが重要な課題となっています。

地域経済の活性化と雇用問題を解決するためには、企業の安定的な経営と工事の品質を確保するための安定的かつ確実な予算や適正な利潤の確保、さらには、生産性の向上や事務の効率化を目的としたDXの推進が必要不可欠となります。

ついては、これらの課題に早期に対処するために必要となる令和6年度の林野公共事業予算について、下記のとおり大幅な増額確保をお願いします。

記

- 1 大規模災害が発生した際の体制や現場での事業を確実に実施する体制を強化するため、森林管理局・署の技術者を育成・確保するとともに、近年の資材高騰や現地の施工条件等の特性を踏まえた設計積算や適正な工期設定により、受注者が適正な利潤を確保できるよう努めること。
- 2 国民の安全・安心な暮らしの実現に向けて、荒廃山地の復旧対策はもとより、治水対策と連携し、上流域での被害の発生を未然に防止する事前防災・減災対策をより一層推進するための治山事業予算の増額確保を図ること。
- 3 カーボンニュートラルの実現に向けて、間伐に加え、利用期を迎えた森林の主伐が本格化する中で木材の安定供給を効果的・効率的に実施でき、主伐後の再造林も着実に実施できるよう、路網の強靱化・長寿命化を図るとともに、幹線となる林道の整備を目的とした森林整備事業予算の増額確保を図ること。
- 4 国土強靱化対策のさらなる加速化・深化を目的とした「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について引き続き所要の予算を別枠で確実に確保するとともに、「5か年加速化対策」後も、中長期的に森林整備・治山対策を計画的かつ着実に推進するための枠組みをつくること。

一般社団法人 名古屋林業土木協会
会 長 三 尾 秀 和